

ティーチング・ポートフォリオ

大学名：大手前大学 所属：国際日本学部 名前：植松 茂男 作成日：2023年12月22日

1. 教育の責任

本学は建学のアイデンティティーがしっかりしており、時代を超えてその魅力を失わないと思います。(外国語) 教員もオブジェクティブとこのゴール(建学の精神)があれば、一致団結して苦難の時代があろうと、受け入れた学生の能力の開発という大学教育の責任を果たし、少子化の時代も乗り切ってゆけると信じます。

2. 教育の理念

本学の建学の精神“STUDY FOR LIFE (生涯にわたる、人生のための学び)”には、次のようにあります。「豊かな教養と専門的学術、旺盛な自己開発精神、優れた国際感覚及び問題解決能力を備えた人材を育成し、地域の教育・研究および生涯学習の中心として、地域社会・国際社会に貢献することを目的とします。」

これは、教育学を専攻するものとして極めて卓見であり、EU の目指す「ソーシャル・エイジェント」(social agent : 自ら課題を発見し、協調して解決してゆく人材)の育成のための教育施策と方向性を一にし、極めて先進的であり本質的な考え方であると思うと共に、自らその志を持って教育に当たろうと思います。

3. 教育の方法

学部の新設やさらなるグローバル化に備えて、英語の4技能をわかりやすく教え、伸ばすための「全学英語教育」を開発してゆこうと思います。大手前大学のルーツでもある英文学科で培われた教養溢れる語学教育力から学びつつ、今日的な翻訳機能ツールを意識した「実利的」英語コミュニケーション力の強化にシフトする必要があります。

以下そのコアにあたるコンセプトをまとめてゆきます。

- 1) 志願者の TOEIC や英検のスコア向上に寄与するため、より理解し易いような指導を提供できるように英語 4 技能を、「少人数クラス制」、「習熟度制」により丁寧な指導を心がけたいと思います。
- 2) また本学の特徴でもある、「建築・芸術」、「看護系」学部などに於いては、独特の用語の習得、運用が必要になると考えます。こちらは、ESP(English for Specific Purpose)という教授法を徐々に導入して、受験までの一般語彙・表現とは異なるものを専門の先生と共に考え、教授してゆきたいと思います。
- 3) さらに、外国語(英語)を学ぶモチベーションを高めるために、「留学」の奨励、「国際交流センター」に來ている留学生との交流も、規模・質ともに拡大させ、充実してゆきたいと考えます。
- 4) 純粋に英語力をもっと伸ばしたい学生には、LEO 科目を受講させ、国際的感覚を身につけつつ、英語言語文化力を涵養したいと思います。

4. 教育の成果

「英語国際コミュニケーションコース」への移行を踏まえて、1 年次必修科目の英語について、まずルーティンとして実施されているところでは、毎年度3月に同科目コーディネーターが能力伸長状況についてデータをまとめ学長に報告する場を設けて把握測定を行っている。本時点では、2022年2月24日に報告のあった2022年度の情報が最新のものとなる(添付資料参照)。

2021~2022年度は、前2カ年度と比して全体的に成績の低下がみられるが、2020年度はコロナ禍の影響で期末テストのみであったところを、21年度以降は中間テストを再開したこと、写真の内容を説明する英作文の問題を新たに取り入れるなど、テストの難易度を上げたことや、上述の初級・中級クラスの合算、コロナ禍でテスト受講者の変動が大きかったこと等が要因となっているものと考えられる。

なお、LEOクラス(上級)に於いては、pre-postテストの同一人数(N)が、統計的な信頼性を維持する数を下回り、データとして示せなかった。次年度の期末以降、スコアを検証再開できると期待している。

ティーチング・ポートフォリオ

大学名：大手前大学 所属：国際日本学部 名前：植松 茂男 作成日：2023年12月22日

5. 改善への努力と今後の目標

日本人教員・英語母語話者教員が「英語国際コミュニケーション」コースへ集い、日々の連携と意見交換を活発にすることから全てが始まると考えています。今後の目標としては CEFR（欧州共通学国語参照枠）の A2 レベルから B1 レベルを目指して、教育の工夫を凝らし、具体的な英語運用能力向上を目指します。

【添付資料】

2020～22の3カ年度のスコアの推移を表すと次の通りである。

		2022	2021	2020
三学部初級	英語I	53.5	59.3	71.4
同	英語II	-	-	68.8
三学部中級	英語I	68.9	75.7	80.6
同	英語II	70.7	69.3	74.7
健康栄養学部	英語I	70.9	69.7	77.1
同	英語II	70.1	64.1	70.8

（21、22年度で三学部初級の英語IIが空欄となっているのは必修である英語Iに対して選択科目である英語IIは初級、中級を合同でクラス編成し、中級であわせて結果が示されているためである。）